



☆ さあ、春の野に出かけてみませんか？

今年の桜は、あっという間に満開になり散り始めてしまいました。お花見の期間が短くて、残念だった方もいらっしゃることでしょう。でも、草花はまだまだこれから。春の野にお弁当を持って出かけたなら、どんなに楽しいことでしょうか！ 今回は、そんな春の絵本を集めてみました。



春の野原へピクニック！



絵本・14ひきのぴくにっく

いわむらかずお作 童心社

14ひきのねずみの家族は、今日は楽しいピクニック。小鳥が鳴いて、すみれが咲いて、小川の水もぬるんで、春の匂いがいっぱい！ どんどん歩いて行って、みんなでいくつの春に出会ったかな？

おなじみ14ひきシリーズの1冊。子ねずみたち一匹一匹がとても個性的で可愛らしく、楽しい絵本です。

絵本・はなのすきなうし

マンロー・リーフ文 ロバート・ローソン絵

光吉夏弥訳 岩波書店

“ふえるじなんど”は、花の匂いにうっとりしているのが大好きな牛。ところがある日、猛牛と勘違いされて闘牛場へ！でも、花の匂いがしてくると“ふえるじなんど”はやっぱりうっとり…

白黒の絵がとても表情豊かに描かれています。

絵本・ふしぎなたけのこ

松野正子作 瀬川康男絵 福音館書店

たけのこ掘りに出かけた“たろ”が上着をかけたたけのこは、ぐんぐん、ぐんぐん伸びていきます。てっぺんにつかまっていた“たろ”はいったいどうなるの？

ドキドキしながら、ダイナミックな絵とテンポの良いお話を楽しんでください。

絵本・はるになったら

シャーロット・ゾロトウ文 ガース・ウィリアムズ絵

おびかゆうこ訳 徳間書店

ちいさなおねえちゃんが、ちいさなおとうとにしてあげたいたくさんのこと。それは、一緒に楽しむこと、守ること。

やわらかな色づかい、やさしい言葉。大切なものを大切にする気持ちがあふれてくるようで、読み終わった後も、温かい気持ちがほんのり残り、幸せな思いに包まれます。



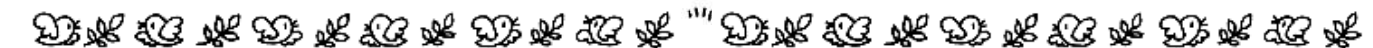
絵本・ありがとうのえほん

フランソワーズ作 なかがわちひろ訳 借成社

『まりーちゃんとひつじ』などの絵本の作者が描く、たくさんの「ありがとう」

おひさま、おはな、ねこ、いぬ、おうち……毎日なんとなく過ごしているけれど、本当はたくさんの人やもののおかげで暮らしているんだよ、ということに気づかせてくれます。

声に出して読んでみると、「ありがとう」の魔法にかかったように笑顔になれます。



★ おはなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

次回は
時間
場所

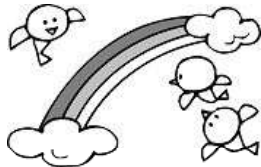
5月17日(土)、 6月21日(土)
午後3:00~3:30
水戸市立西部図書館 お話し会のへや



☆ 梅雨空に祈りをこめて・・・

岩手・宮城県で大地震が発生してから1週間がたちますが、余震が続いており、梅雨の大雨の被害も心配です。どうかこれ以上の災害が起きないように、そして、被災地の子どもたちに明るい笑顔が戻るよう心から祈ります。

さて今回は、梅雨空のように重く暗い気持ちを吹き飛ばしてくれる絵本を選んでみました。



虹をさがしにいこう！



絵本・くんちゃんとしじ

ドロシー・マリノ作 間崎ルリ子訳 ペンギン社

雨がやんでくまのくんちゃんが外に出ると虹が出ています。虹の根元には金が埋まっていると聞いたくんちゃんは、おなべを持って探しに行きます。リス、ウサギ、シマリスを訪ねながらくんちゃんが探し出したものは…。

やさしい線画と淡彩で描いた絵本。くんちゃんと一緒に冒険してみては？



絵本・だるまちゃんとかみなりちゃん

かこさとし作・絵 福音館書店

だるまちゃんが傘をさして歩いていると、空から変なもの“ぴかぴか ごろごろ たらたらどしん”とかみなりちゃんが落ちてきました。ふたりは、先に落ちてきた変なものを木からはずそうとしますがうまくいきません。そこへ大きなかみなりどんがやってきて、だるまちゃんを雲の上のかみなり公園に連れていってくれました。細かく丁寧に描かれたかみなりの国が、子どもたちに人気の絵本です。



絵本・あいかさ

ロバート・ブライト作 清水真砂子訳 ほるぷ出版

女の子が赤い傘を持って散歩に出ると“ほらほら！ふってきた”女の子が傘を開くと、子犬子猫、ニワトリ…と次々に動物たちがやってきて、みんなで楽しく雨宿り。やがて雨がやんで…。暖かく、やわらかい線画に、傘の赤だけが印象的な絵本です。小さなお子様にどうぞ。

絵本・かさ さしてあげるね

長谷川摂子文 西巻茅子絵 福音館書店

“ぞうさんの せなかに あめが ふる”
“「かさ さして あげるね」”

キリン、アリ、クマ、と男の子は傘をさしてあげます。そして、くまさんにだっこされて散歩していると…。

簡潔な文章と、ほんわかとかわいらしい絵の赤ちゃん絵本。子どもが自分で開く楽しみも。



絵本・おかあさんのたんじょうび

『おかあさんだいすき』より

マージョリー・フラック文・絵 光吉夏弥訳 岩波書店

ダニーはおかあさんの誕生日に何をあげたらいいか探しにでかけました。そして、めんどり、がちょう、やぎ、ひつじ、めうしに会いましたが、みんなおかあさんが持っているものしか思いつきません。そこでダニーは、山のくまさんに聞きにいきました。すると…。最後は思わずにっこりしたくなる温かい絵本です。



★ おはなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

次回は
時間
場所

7月19日(土)、
午後3:00～3:30
水戸市立西部図書館 お話し会のへや



みみずく通信

発行：すばなしの会みみずく
<http://www.h4.dion.ne.jp/~mimizuku/>

☆ たっぷり遊んで疲れた後は・・・絵本がいいね！

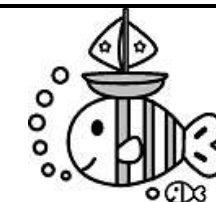
もうすぐ本格的な夏、そして楽しい夏休み！！
暑い外でたっぷり遊んで、ちょっと疲れてしまったら、おうちでゆっくり絵本を読むのもいいですね。今回は夏休み拡大版で10冊の楽しい絵本をご紹介します。

No. 34

2008.7.19



厳しい暑さに、絵本でやすらぎのひとときを！！



絵本・ターちゃん和ペリカン

ドン・フリーマン作 西園寺祥子訳 ほるぷ出版
海にキャンプに来たターちゃんは、去年も会ったペリカンの再会を喜びます。ターちゃんとペリカンの交流が、潮の香りのするような、浜辺の景色の中に描かれています。

絵本・ねこのオーランドー

キャスリーン・ヘイル文・絵 福音館書店
ネコのオーランドーは、3匹の子猫のお父さん。一家そろってでかけたいと飼い主を説得してキャンプにやってきました。キャンプの準備の仕方から楽しみ方まで、オーランドーが教えてくれているような絵本です。
本当に楽しいキャンプができるかも！

絵本・こねこのぴっち

ハンス・フィッシャー文・絵 石井桃子訳 岩波書店
線画のデッサンのような美しい絵でいきいきと描かれる動物たち。兄弟たちと同じなのは嫌なんだと、おんどりやあひるのまねをするぴっちの頑張る姿は、まるでかわいい末っ子のように！背伸びをしても無理をしても、大好きな場所にいるのがいちばん安心、ですよ。

絵本・14ひきのとんぼいけ

いわむらかずお作 童心社
おなじみ14ひきのある夏の一日は、とんぼいけへのおでかけに決定！兄弟10人で木の枝で作ったボートに乗ったり、草のすべりだいで遊んだり。もちろん、とんぼもたくさんみつけたよ。おにやんまにしおからとんぼ、帰り道には赤とんぼ。
さあ、いったい、どれくらいのとんぼがいたかな？



絵本・3だいの機関車

(汽車のえほん 1)
ウィルバート・オードリー作 レジナルド・ダルビー絵 桑原三郎・清水周裕訳 ポプラ社
表紙をみてまっさきに気がつくのは「あれ？ トーマスの絵本？」
そうです。この本はおなじみのトーマスシリーズの第1作目なのです。まずは小さなエドワード、いばりんぼうのゴードン、気どりやのヘンリーのお話です。それぞれ性格は違うけれど、違うからこそ協力しあえるんですよ。

絵本・えんにち

五十嵐豊子絵 福音館書店
子どもがふたりで、縁日のお店を見て歩きます。綿飴や金魚すくい、ヨーヨーつりなど、いろいろなお店が登場します。にぎやかな店先を、子どもたちと一緒に歩いている気分になれる楽しい文字無し絵本です。



絵本・はちうえは ぼくにまかせて

ジーン・ジオン作 マーガレット・プロイ・グレアム絵 もりひさし訳
トミーは、夏休みに近所の鉢植えをあずかって世話をするアルバイトを始めました。あきれていたおとうさんやおかあさんも、トミーのがんばりにおどろきます。
淡い青・黄・緑の色調から、あたたかさが伝わってくる絵本です。

絵本・輝きの季節

ターシャ・テューダー文・絵 メディアファクトリー
「ママが私くらいだった時のことをお話しして！」という孫娘の言葉から誕生した絵本。アメリカニューイングランド地方の、季節の行事を大切にしながら子どもたちと過ごす一年間が描かれます。
6月に92歳で亡くなられた作者、ターシャ・テューダーさんの穏やかな暮らしがうかがえる絵本です。



絵本・かいぞくのうた

和田誠作 あかね書房
本を読むと、その主人公になったような気持ちになることはありませんか？
海賊になりたかった「ぼく」は、うちを出て冒険に出かけます。さて、どんな冒険が始まるのでしょうか？
日常から非日常へ、いとも簡単に空想の世界が広がっていきます。

絵本・おおかみと七ひきのこやぎ

グリム童話 フェリックス・ホフマン絵 瀬田貞二訳 福音館書店
おなじみのグリム童話のお話を、瀬田貞二さんの美しい日本語訳と、フェリックス・ホフマンのすばらしい絵でお楽しみください。色を抑えた迫力ある絵は、物語の世界をより一層魅力的なものにしており、お話にはない最後の場面の絵は子どもたちに限りない安心感を与えてくれます。

★ すばなしの会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

次回は **9月20日(土)** (8月はお休みです)
時間 **午後3:00~3:30**
場所 **西部図書館 お話し会のへや**





みみずく通信

発行：すばなしの会みみずく

<http://www.h4.dion.ne.jp/~mimizuku/>

No. 35

2008.12.20

☆ 気分もウキウキ，クリスマス！

今年もクリスマスがやってきます。町中イルミネーションが輝いて、気分もウキウキしてきます。今回は、いろいろなクリスマスの本を集めてみました。字のない絵本，しかけ絵本，再版のもの、どれも楽しい本ばかりです。

来年の干支，牛の絵本も一緒にお楽しみください。



メリークリスマス & ハッピーニューイヤー



絵本・マドレーヌのクリスマス

ルドウィッヒ・ペーメルマンズ作 江國香織訳 BL出版

クリスマスの前の晩にみんなかぜをひいてしまい、元気なのはマドレーヌだけ。そこでせつせとみんなのお世話をしていると、じゅうたん商人がやってきて不思議なことがおこります。

おなじみマドレーヌシリーズの1冊。元気でかわいいマドレーヌを見ていると、楽しくなってしまう。

絵本・ハリーのセーター

ジーン・ジオン文 マーガレット・フロイ・グレアム絵
渡辺茂男訳 福音館書店

犬のハリーは、おばあさんからのプレゼントにばらの模様のセーターをもらいます。でも、気に入らないので捨てようとするのですが、いつも戻ってきてしまいます。ところが、鳥がセーターの端をくわえて飛んでいくと、セーターは全部ほどけてしまいハリーは大喜び。

おばあさんが訪ねて来たとき、ハリーはおばあさんを散歩に連れ出します。そこにはいったい何があったと思いますか？

絵本・おおきいつリー ちいさいツリー

ロバート・バリー作 光吉夏弥訳 大日本図書

もうすぐクリスマス。ウィロビーさんのお屋敷にもツリーが届きました。見たこともないような大きなツリーです。でも、大広間に飾るには大きすぎるので、先っぽを切って小間使いの部屋へ。ところが、ここでも大きすぎて…。どんどんツリーは小さくなっていきます。

でも、どこの家に飾られたツリーも、とても素敵ですよ。

絵本・しかのハインリッヒ

フレッド・ロドリアン作 ウェルナー・フレムケ絵
上田真而子訳 福音館書店

しかのハインリッヒは、動物園に来る子どもたちが大好き。でもクリスマスが近くなって、子どもたちが来なくなり、ハインリッヒはさびしくなっていました。そこでハインリッヒは故郷の中国の森を思い出し、動物園を逃げ出して…。

子どもたちとの交流が素直に伝わってくる、楽しい絵本です。



絵本・ビロードうさぎ

マージェリィ・ウィリアムズ文 石井桃子訳
ウィリアム・ニコルソン絵 童話館出版

ビロードうさぎは、クリスマスの日“ぼうや”のところへやってきました。他にもたくさんのおもちゃがいて、うさぎのことをばかにするものもいましたが、木馬だけは親切でした。その木馬が教えてくれた、子ども部屋におこる“ほんとうのもの”になれるという不思議な魔法とは？

岩波書店から出ていたものを、同じ訳者が改訳しました。心温まるお話を、原書の味わいのままの絵で、お楽しみください。少し大きな子へ。

絵本・天使のクリスマス

ピーター・コリントン作 ほるぷ出版

クリスマスの夜、女の子は手紙を書いて靴下に入れました。煙突のない家に住む女の子のもとに、サンタは、天使がろうそくで作った滑走路を通過してやってきます。

字のない、まさに「絵本」です。

雪の降る静かな静かなクリスマスの夜に、夢のような世界が広がります。



絵本・クリスマス・アルファベット (めくりしかけえほん)

ロバート・サブダ作 大日本絵画

「A」のカードをめくると、「Angel」天使が羽ばたいてあらわれます。

一枚一枚手作りのしかけは、美術品といえるくらいの美しさ・素晴らしさ！

同じ作者の「クリスマスの12日」は、しかけの大きさに感動まちがいなしです。

どちらも図書館では、書庫にしまっているの、係の方に声をかけてみてください。

(水戸市立中央図書館、所蔵)

絵本・3びきのこいぬ

マーガレット・G・オットー作 パーバラ・クーニー絵

あんどりのりこ訳 長崎出版

ダックスフントの3びきのきょうだいは、とても仲良しで散歩するのも寝るのも一緒。もちろん遊びに行くときも。けれどある日、迷子になってさあ、大変！

子犬の表情やしぐさが生き生きしていて、言葉の響きも楽しく、小さい子にも開きやすい大きさの絵本です。

絵本・ウルスリのすず

ゼリーナ・ヘンツ文 アロワ・カリジェ絵

大塚勇三訳 岩波書店

明日は冬のおまつりの鈴行列の日です。小さな家に住む男の子ウルスリがもらえたのは小さな鈴でした。ばかにされてなんかいられない！と、ウルスリは、冬の間へと登っていきます。

ウルスリは、鈴行列で先頭をきることができるのでしょうか？

最後に、家で安心してみんなで囲む食卓は、本当に幸せそうですね。

絵本・こうしがうまれたよ

海月清則文・絵 福武書店

夜中に生まれたばかりのこうしは、朝になってお母さんと外へ出ました。雪が残っている外はまだ寒く、こうしは具合が悪くなりました。でも、すぐ元気になり、めずらしいものをいろいろと見ていきます。

母うしとこうしの姿を見ていると、ゆったりとした温かいものが流れ込んでくるような絵本です。

来年の干支“牛”の本です。他にも、マンロー・リーフ文、ロバート・ローソン絵、岩波書店の「はなのすきなうし」もおすすめてです。



おはなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。

ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

次回は
時間
場所

1月17日(土)、2月21日(土)
午後3:00~3:30
水戸市立西部図書館
お話し会のへや





☆ 絵本でホッと！

日中は春を感じるこの頃ですが、朝晩はまだまだ寒い日が続くそうです。皆さんお元気ですか？「寒いなあ……」と思う日はこたつに入って、ゆっくり絵本を開いてみましょう。ほら、なんだかホッとしませんか？
今回ご紹介する絵本は、そんな温もりを感じる冬の絵本です。



絵本で春を感じよう！



絵本・うさぎちゃんとゆきだるま

あいはらひろゆき文 あだちなみ絵 教育画劇

みなさんは雪が降ったら、何をして遊びますか？考えると、なんだかワクワクしてきます。さて「うさぎちゃん」は何をして遊んだのかな？

シンプルな絵の中で、うさぎちゃんの赤いコートと帽子がとても素敵です。雪が待ち遠しくなる絵本です。

絵本・ふくほうちおにもうち

内田麟太郎作 山本孝絵 岩崎書店

「さむいよう、さびしいよう」と声がするの
で男が戸を開けると、なんとそこには鬼が立
っていました。節分の寒い夜、男は鬼を家に入れ
てやり、一緒に酒を飲み始めて、やがて宴会に
なってしまいます。その賑やかな様子に、ちょ
うど通りかかった福の神まで加わって……

ちょっと変わった節分のお話です。

絵本・ターちゃんのとぶくろ

おおしまたえこ作 ポプラ社

おかあさんが編んでくれたてぶくろは、右手が男の子の顔、左手は女の子の顔で、赤い毛糸で繋がっています。ターちゃんは昼間は手袋をして公園に行き、夜も手袋と一緒に寝ました。

ターちゃんが眠ってしまうと手袋は家を抜け出して、雪だるまを作ったり木登りをしたり…そのうち風に飛ばされ池に落ちてしまいます。いったい手袋はどうなるのかな？



絵本・はるふぶき

加藤多一文 小林登絵 童心社

マサルは、初めて一人で馬車に乗って丸太を町へ運んでいくことになりました。初めて大人のように買い物をしましたが、戻る頃には吹雪になってしまいます。春の重い雪と戦いながら戦争に行ったきり帰ってこないとうちゃんを思い出して馬を進めるマサル…マサルは無事に家に帰り着けるのでしょうか。

北の大地の少し昔のお話です。

絵本・雪の上のなぞのあしあと

あべ弘土作 福音館書店 かがくのとも傑作集

春まで休園している北の動物園。そこで飼育係をしている「ぼく」の一日のおはなしです。

普段は見ることもない動物たちの日々の暮らしや「ぼく」の動物への愛情がストレートに伝わってきます。

動物園が大好きな子どもたちに、ぴったりの絵本です。

★ おはなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

次回は
時間
場所

3月21日(土)、 4月18日(土)
午後3:00～3:30
水戸市立西部図書館 お話し会のへや